

南慶院 横浜市青葉区鴨志田町755

鶴見川を横切る常磐橋より青葉台への道と交差するバス停常磐橋より入った右手に、臨済宗北斗山南慶院がある。北条氏の家紋の三つ鱗が付いていて、鎌倉円覚寺の末寺ということが分かる。門前には関係者以外立ち入り禁止の張り紙があり恐る恐る境内に入った。

臨済宗円覚寺派寺院の南慶院は、北斗山と号し創建年代等は不詳ながら、鎌倉圓覺寺住職大川（延応元年 1239 寂）が勧請開山として創建したといいます。

緑区・青葉区連合仏教会編纂の「寺院名鑑」には「大本山円覚寺歴世の内、世代十七世大川道通禅師を開山とし、本尊は観世音、創建は歴応元年(1338年)」としか書いてない。



山門と本堂



山門の脇に石像が多くあるが読めない



従来住職の碑



石をくり貫いた手水舎



本堂



本堂の彫刻も綺麗だった